

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和08年3月30日

事業所名 リアン・プラス 第1教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|------|-----|---|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | 0% | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 100% | 0% | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 100% | 0% | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 100% | 0% | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 100% | 0% | 年に一度、総会等に外部の方へきていただき評価をいただいている | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | 0% | スキルアップ研修(1回/3か月)・基礎研修(1回/2か月)その他必要に応じて、実施している | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | 月に2回現場担当者参加の上策定会議を実施し、でた意見を参考の上、個別支援計画を差作成 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | 0% | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 100% | 0% | 各プログラムで担当制にしている為、月に一回担当者があつまりMTG実施プログラムの立案等を行っている | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | 0% | 各プログラム担当制にしている、月に一回担当者が集まりMTG実施プログラムが固定化しないようしている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 100% | 0% | 平日にはできないようなイベントや社会参加の場などを、休日・長期休暇に機会を設定し支援を行っている | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | 放課後等デイサービスの中で、プログラムを3つに細分化しており、個々に応じた形で本人にあった形で計画を作成している | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | ・毎朝、朝礼をオンラインGoogle MEETを利用して実施している (参加していない人も、録画している為 視聴可) ・各プログラム開始前の打合せ実施している | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | ・毎朝、前日の振り返りオンライン Google MEETを利用して実施している (参加していない人も、録画している為 視聴可) ・各プログラムで支援終了後 振り返りを実施している | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | 0% | 支援記録等は、アプリを使用しており申請制にしている為、記録の内容に修正点があればその都度指導している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 100% | 0% | できるだけ、ガイドラインにそって行っている | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|------|--|----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | 0% | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 100% | 0% | 学校単位で、下校時間等の連絡調整は書面で行っている | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 100% | 0% | 医療的ケア受け入れの際は、すべて実施研修を行ってから受け入れをしている為、主治医との連絡体制は整えている | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 100% | 0% | 家族サポート事業で、ママカフェを実施しておりその中で、「ペアレントトレーニング」4回連続講座など実施している | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 100% | 0% | 必要に応じてサポートブックなどを、親御さんと一緒に作成できるよう提案したりしている | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 100% | 0% | 年に数回、専門機関の見学や、勉強会にスタッフと訪問させていただく機会を設けている | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0% | 100% | | 環境の変化を嫌う利用者が多数在籍している為、意図的に行っていない |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 71% | 29% | 昨年度に引き続き、地域の協議会からお誘いいただき継続して参加させていただいている | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | 各プログラムで、ママカフェを実施して、親御さん同士のコミュニティの場、共通理解の場を設けている | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 100% | 0% | 令和8年2月4回連続講座で実施、継続して今後も、実施予定 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | 0% | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | 0% | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 100% | 0% | 各プログラムで家族サポート事業でママカフェや親子支援の場を提供している | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0% | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | 0% | 各プログラムで基本月1回、活動概要などをブログに発信するようにしている | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 100% | 0% | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | 0% | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0% | 100% | 障がいに関係な就園前児童・親御さんに向け週1回「親子ひろば「ぐんぐん」」を開催している | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 100% | 0% | 連絡用アプリ「HUG」を利用し、実施している | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | 0% | 長期休暇基本、実施している | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 100% | 0% | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 100% | 0% | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 100% | 0% | 保護者様に対応をヒアリングし、マニュアルを作成して職員に情報共有している | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 100% | 0% | | |